

栄町長選 橋本浩氏が当選 新人3人の激戦制す

任期満了に伴う栄町長選挙は5月15日に投票が行われ、新人で元町議会議長の橋本浩氏(45)が、新人で元町議会議長の池田誠氏(63)が、新人で元町議会議長の加藤孝氏(44)が、NHK党の2人を破り初当選を果たした。投票率は53.67%で、前回投票率の47.35%より6.32%上がった。当日有権者数は1万7549人(男8665人、女8884人)。



取手から来た花束を受け取る橋本浩氏(左)と、元町議会議長の池田誠氏(右)が握手を交わす。5月23日、栄町役場前。

橋本氏は「町民が希望を持てる町づくり」として、災害時支援拠点の設置や子育て支援・相談体制の充実などの公約を掲げ、幅広い年代の有権者の支持を集めた。選挙戦では現職の岡田正市町長と町議をはじめ、松本尚衆議院議員、岩井泰憲県議、中澤俊介印西市議会議長など国会議員や町選出の県議、近隣市町村の市議らの支援を受けて、激しい選挙戦を勝ち抜いた。

池田氏は町職員の経験を中心に、農業の6次産業化などを訴えたが競り負けた。加藤氏は町政の刷新と改革を訴えたが、有権者の支持の広がりを欠いた。

15日午後9時30分頃に当選の一報が入ると、栄町安食の選挙事務所では歓声が沸き、橋本氏は支援者らと一緒に万歳三唱をして当選を喜んだ。

祝賀会で橋本氏は「これはひとえに個人の勝利というわけではなく、ご支援いただいた一人ひとりの皆さまの栄誉だ」というふうに心か

住みやすい町づくり、健康でいきいきと生活できる町づくりに全力で取り組んでまいります」と述べた。

◆橋本氏「全身全力、全霊でこの町の為に頑張ります」

橋本氏は報道各社とのインタビューで「日に日にご支援いただき、ありがとうございます。これから、激しい戦いだった最後まで戦い続けることができました」と、選挙戦を振り返った。その上で「皆さんのご期待に応えられるように、その責任をしっかりと全身全力、全霊で、この町の為に頑張っていく」と抱負を語った。

公約に掲げた「町民の命を大切にしていこう」というのは、自身が参加した阪神大震災や東日本大震災でのボランティア活動に触れ、「30年前に比べ災害も大規模化している」と述べ、災害対策を第一に据えて「安心安全の町づくり」を進めるとして、印西市や成田市など近隣の医療機関との連携強化を進める方針を示した。

町内の産業活性化では、町内の観光拠点「ドラムの里」を

「町内の産業の拠点になるように支援していきたい」として機能強化を図り、栄町産の農産品販売や情報発信に活用する考えを示した。一方で「道の駅」構想については「機能的にドラムの里と重なる部分がある」として、ドラ

ムの里の機能強化を優先する姿勢を強調した。

JR安食駅の改修は、町民アンケート調査の結果を踏まえ「利便性を整えつつ財政負担を抑えて今の時代に合った駅づくりを模索していきたい」と語った。

◆怪文書はねのけ勝利の橋本氏
◆町内の融和を図り町政運営を

あふれる若きリーダー・橋本浩氏に町の将来を託した。橋本氏は町長就任早々に、町財政の立て直し、人口減少問題などの山積した難問に立ち向かう事になり、4期14年の町議経験で培った手腕と実行力に期待が集まった。

選挙戦では橋本陣営を中傷する怪文書が複数回配布されたが、有権者が冷静に判断した結果、橋本氏は得票総数の58%、5406票を獲得。橋本陣営の運動員は「かえって陣営が引き締まってきた」と見られる。

新町長の橋本氏は、池田氏に投票した町民の意思を無駄にすることなく、町内の融和を図りながら町政運営を進めてほしいと述べた。

【選挙ごぼれ話】
今回の選挙は「町長選立候補者が供託金没収」の珍事があった。NHK党公認の加藤孝氏が、供託金没収の基準である「法定得票数の10分の1」以下の259票しか取れず、供託金50万円の没収が決まった。

町選挙管理委員会によると、町長選立候補者の供託金没収は、2000年の町長選以来22年ぶりで「それ以前は資料が無いので分からない」という。

加藤氏は、動画配信を活用するなどユニークな選挙戦を展開したが、有権者への支持の広がりを欠いたのは否めない。同党は、千葉県北総地域の首長選では2020年の印西市長選に続き2敗目で、まさに「これが栄町の民意だ」というのを痛感しただろう。

没収される供託金50万円は、栄町の歳入となり、町の財政に貢献した点だけは評価してもいい。

栄町長選・開票結果			
選管確定			
当5406	橋本浩 45	無新	
3647	池田誠 63	無新	
259	加藤孝 44	N党新	



住所:印西市大森3229の1 電話:0476(40)2571
午前11時~午後3時(ラストオーダー午後2時30分)、
午後5時~午後9時30分(ラストオーダー午後8時45分)
定休日:月曜日

コロナに負けない! 編集部イチオシグルメスポット 友和亭

「お客様のその日の気分を選べる」と、店長が強調するのがメニューの豊富さ。定食メニューだけでも23種類、月替わりの期間限定メニューもある。6月には冷やし中華が出る予定だが、それ以外の期間限定メニューも多数予定しており、目が離せない。

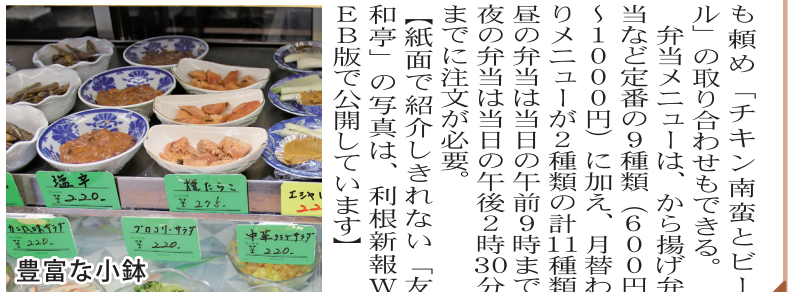
定食を彩る小鉢も豊富で、特に焼きたらこ、塩辛などの小鉢メニューは、晩酌にはうってつけの逸品。程よく焼けた焼きたらこは、ビールにも焼酎にも良く合う。

人気の定食メニューは、刺身、からあげ、しょうが焼き、とんかつ、天ぷら、の各定食だが、今回は夕食メニューにも、晩酌にも合うチキン南蛮定食(1045円)を紹介したい。

チキン南蛮を丸かじりする中から肉汁がジュワッとあふれ出る。チキンに絡む特製ソースで食欲が刺激されご飯が進み、お代わりが欲しくなる。定食メニューは単品でも頼め「チキン南蛮とビール」の取り合わせもできる。

弁当メニューは、から揚げ弁当など定番の9種類(600円~1000円)に加え、月替わりメニューが2種類の計11種類の弁当は当日の午前9時までの夜の弁当は当日の午後2時30分までに注文が必要。

【紙面で紹介しきれない「友和亭」の写真は、利根新報WEB版で公開しています】



トークイベント
「みらいを考える時間」
7月2日開催

7月2日(土)午後2時から、印西市文化ホール

政治評論家で元衆議院議員の金子恵美さん=写真=と、中澤俊介印西市議会議長をゲストに招いてのトークイベント「第3回みらいを考える時間」が開かれる。

演題は「政財界におけるリーダーの資質」(仮題)で、参加希望の方は、メールで住所・氏名・年齢・連絡先を明記の上、tokita@mirai.chiba.jpまで送付。(北総みらい会議 担当・ときた) 一般参加の方は、先着50名まで無料。

金子恵美さんプロフィール

2000年早稲田大学第一文学部卒業後、新潟放送勤務を経て、03年ミス日本関東代表に選出。07年新潟市議選に初当選。新潟市議、新潟県議を経て、12年に衆議院議員に初当選。16年総務大臣政務官に就任、放送・IT行政、郵政を担当。(主な政策テーマ・福祉、IT、地方創生、子育て支援、女性活躍)。10年間の議員生活を経て、現在は企業顧問とテレビコメンテーターなど中心に活動。22年ベストマザー賞を受賞。

「働きたい」
というあなたへ

資格取得
看護師による健康管理
無料体験

就労移行支援 / 就労定着支援事業所
みらいキャリアアシスト
印西牧の原

TEL 0476-33-7503
https://www.miraicai.jp/

〒270-1335 千葉県印西市原 1-2
BIGHOP ガーデンモール印西

相談・見学・体験 無料実施中!

対象の方
うつ ひきこもり LGBT 発達障害 など